

1 学校経営の基本方針と重点事項

(1) 学校経営の方針

みんなが喜んで来る学校

保護者が喜んで通わせる学校 児童が喜んで登校する学校 教職員が喜んで勤務する学校

① 児童が喜んで登校する学校

教育の根幹に人権尊重の精神（人権の共存）を据え、児童一人一人にしっかりと寄り添い、一人一人を大切にした教育に努めていく。児童に教育活動を通して、達成感や有用感を持たせ、自尊感情を高めていく。

② 保護者が喜んで通わせる学校

児童一人一人にしっかりと寄り添い、一人一人を大切にした教育に努め、児童の成長した姿で伝えていく。これまで築かれた信頼関係の上に、児童を中心に据え、保護者・教職員が連携して育てていく。

③ 教職員が喜んで勤務する学校

いつでも和気藹々とした職員室の雰囲気づくりや課題に対してチームで対応するなど職員を孤立させない体制づくりを行う。職員が、より主体性、積極性を持って学校経営に参画できるように、3つのプロジェクト（「やさしく【豊かな人間性の育成】部」「かしこく【確かな学力の向上】部」「たくましく【健やかな体力づくり】部」）を活性化する。

働き方についても定時退勤日（毎週金曜日）の確実な実施や部活動がなくなった時間の有効活用を図る。

(2) 大道小学校校訓

やさしく かしこく たくましく

(3) 学校教育目標

ひまわりのように咲く、子どもの育成

本校はめざす児童の姿として、「ひまわり」の詩を大切にきた。

ひまわり

第24代校長 八木田房夫

陽ざしを求めて育つ姿に たくましさを見
行儀よく並んだ花びらに かしこさを感じる
みどりの葉っぱに やさしさを覚え
かたむきかげんの茎に 考える姿を想う
ひまわりよ ひまわりよ

【校長の思い】

本校は、「ひまわりのように咲く、子どもを育てる学校」でありたい。

○「ひまわり」

- ・ひまわりは、いつも笑顔で明るい花である。
- ・ひまわりは、太陽（「夢」「目標」）に向かって咲く花である。
- ・ひまわりは、暑い夏（「困難」）に負けず大きく伸びる花である。
- ・「ひまわり」の詩から、（「やさしさ」「かしこさ」「たくましさ」）が伝わってくる。

○「咲く」

- ・児童の「夢」「目標」を咲かせることを応援できる学校でありたい。

○児童246人が喜んで登校する学校である。

○保護者・地域から大きな支援や協力があり、大きな期待のある学校である。

○職員も大きな責任・使命があり、一生懸命に取り組んでいる学校である。

（4）めざす児童像、保護者像、教職員像

めざす児童 ひまわりのような 笑顔あふれる大道小（児童会テーマ）
～かがやくあいさつ 進んで行動～
・やさしい児童
・かしこい児童
・たくましい児童

めざす保護者像 全ての人々と心寄せ合い、ひまわりのような元気いっぱいの子
どもたちを育もう！！（PTA 重点努力目標）
～それぞれの花を大きく咲かせる土台づくり！～
・学校教育についての共通理解を図る保護者
・三者の連携を図り、教育環境の整備に努める保護者
・よき保護者となるための研修と親睦に努める保護者

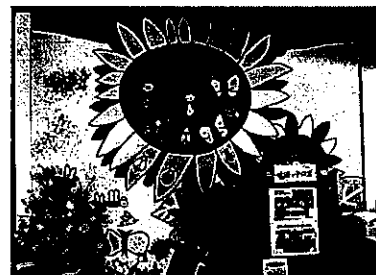
めざす教職員像 子どもたちの「夢」や「目標」の実現に向け、専門
性を磨き努力する教職員
・教育的愛情に溢れ、使命感のある教職員
・絶えず研修に励み、職務に徹する教職員
・人権尊重の精神を持った心豊かな教職員

（5）今年度のテーマ

挑 戦

新時代に向け、挑戦する

児 童 自分自身の「夢」や「目標」に向かった挑戦
保護者 P T A活動の更なる充実への挑戦
教職員 教育活動の創造への挑戦



2 努力事項・具体的な実践事項

(教職員による自己評価：4段階評価)

項目	努力事項	具体的な実践事項	1	2	3
豊かな人間性の育成PJ	(1)「人権の共存」(自他共に人権を大切にすること)の人権感覚の育成	①人権学習における各学級の中心となる指導の充実 ②自尊感情を高める取組の計画的な実施(人権学習、性教育、認め、ほめ、励ます言葉かけ、「親の学びプログラム」、広報掲示等)			
	(2)気づき、考え、行動する実践力の育成	①「自分から先にあいさつ」「立ち止まってあいさつ」の徹底(「大道あいさつ日本一をめざして」) ②「特別の教科「道徳」の授業において、指導方法の工夫改善を図ることによる道徳的実践力の向上」 ③「研究授業：公開授業2回以上」 ④「熊本の心」「つながる熊本」「明日への」の計画的な活用			
	(3)いじめ・不登校ゼロに向けての取組の徹底	①「学校教育目標」「いじめ0宣言」「学級目標」の徹底 ②「ひまわりアンゲート」「心のアンゲート」結果を活用した教育相談・生徒指導			
	(4)学校版環境 ISO の取組	①環境 ISO への理解と具体的実践 ②環境に関する体験活動の活性化(水俣に学ぶ肥後っ子教室、エコキャップ運動、「もくもくそうじ」)			
確かな学力の向上PJ	(1)自ら学ぶ「授業改革」の推進	①問題解決学習過程カード「めあて」「まとめ」等の全教科での活用(研究授業を一人1回以上実施する。) ②問題解決学習の指導法の工夫改善(教材提示、学び合いの活性化、ふりかえりの工夫) ③基本的学習訓練の徹底(「大道ベーシック」の活用、月目標に位置づけ、聞き方等)			
	(2)学力向上の検証改善サイクルの確立	①国や県の学力調査の結果分析、課題共有の時間の設定(校内研修2回以上実施する。) ②個に応じた指導の工夫(個別指導の時間「個別支援の時間」「わくわく教室」、「ぐんぐんタイム」)			
	(3)読書指導の充実	①読書への関心を高める取組(朝の読書、読み聞かせ、PTA活動「ひまわり読書」の推進) ②情報拠点としての図書館の整備充実			
健やかな体力づくりPJ	(1)基本的生活習慣の定着と健康教育の推進	①生活リズムづくり(早寝、挨拶、朝ご飯)の徹底 ②学校生活態度づくりの調査・指導の徹底(スリッパ並べ、ひまわりチェック、呼びかけ) ③健康診断結果等の周知と事後措置の徹底(う歯の処置率、80%以上)			
	(2)教科体育、全校体育の充実と体力の向上	①体力テストの結果を生かした、実態の把握と体力強化のための教科体育、朝の活動(「ランRUNタイム」)の充実 ②外遊びの励行と日常的に継続した体力づくりの推進			
	(3)食育及び給食指導の充実	①食に関する危機管理の見直しやアレルギー疾患への対応の職員研修の実施(年2回以上)			
	(4)事故防止・安全確保危険予知・回避能力の育成	①危機管理意識を持ち、交通安全、生活安全の指導と事故防止(班長会議、交通安全教室、登下校指導) ②危険箇所の点検、危険回避能力を高める避難訓練の充実			
社会に開かれた教育課程	(1)地域人材の活用、地域・家庭との連携強化	①夢に向かっている体験活動・キャリア教育の充実(夢の掲示、夢の講話、体験活動の実施) ②教科等において積極的な人材活用(学力向上推進委員会、学校応援団)や地域教材を活用した授業の工夫 ③生活科・総合的な学習の時間の充実(体験活動・探究活動の充実、計画の見直し) ④積極的な情報発信による公民館・PTAとの連携(学校15会の内容の工夫と広報、ホームページ等)			
	(2)幼・保等、小、中連携の充実	①「山鹿中学校区幼・保等、小、中連携協議会」において、各部会の充実・共通実践 ②幼・保等との積極的な交流及び連携(学期1回以上の交流)			

太字ゴシック (PJ部会本年度最重点事項)